



2023.4.27 (木)  
第38回例会  
(通算3707回)

## 2022-2023年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄  
副会長 清水 輝彦  
幹事 中島 政徳  
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F  
 0154-24-0860  0154-24-0411

2022-2023年度  
国際ロータリーテーマ



2022-2023年度  
R1会長 ジェニアファー・ジョーンズ  
第2500地区ガバナー  
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	母子の健康月間
本日のプログラム	「新入会員対象者をお招きして」(会員増強・選考・職業分類委員会／親睦活動委員会)
次週例会	「情報集会報告会」(クラブ研修委員会)

- ロータリーソング：それでこそロータリー
- ソングリーダー：米本 富夫君
- 会員数 99名
- ビジター なし
- ゲスト なし

### 会長の時間

滝越 康雄会長

夜間例会でございますので先に挨拶させていただきます。

本日、当会場に来訪の新入会員予定者の方、お越しい



ただいたことありがとうございます。また、予定者の方を紹介してここ会場までお誘いいただきましたメンバーの方々に改めてお礼申し上げます。本日ここにご縁があってお越しのゲストの皆さま、私も釧路ロータリークラブは、メンバーそれぞれがその立場で大活躍の方々でございます。

私の母が神戸出身だったのです。当然、灘区が付近にあったのです。今でもお酒の本場です。私の父親の言葉で「灘の酒は特級を目指す。一級用に作ることはないのだ。たまたま飲んでみて『いまいちだな』というのが一級だ」と。

何を言いたいかというと、自らを向上させる意欲がなければこのクラブはお勧めしません。一流に対するあくなき願望という前程があってお勧めできるものです。ロータリーに入り、ロータリーに学び、メンバーに学び、自分に付加価値をつける。そこが長い在籍のポイントかと思えます。ひとつその辺ご理解ください。この機会にこの例会にご縁があってお越しいた

います。他人から推薦されることは、人様から推薦されることはひとつ華の段階でございます。華麗な花です。その辺のご事情をご理解いただき、後日のペーパーをお待ち申し上げます。

私からいつもよもやま話をするのですが、本日はせっかくお越しいたきましたので少し記憶に残るようなリラックスしたよもやま話をして新入会員予定者にプレゼントいたします。

いつものデザートのご代替わりですので、話として2つ、3つ、4つぐらい。

これから皆さんお召しあがりのご馳走のことですが「ご馳走」という意味は、昔、冷蔵庫のない時代に、生ものを大量に用意して長期保存することは全く無理だったのです。ご馳走の「馳」は馬偏に也という字を書いて「馬を使うこと急ぐ」。お客さんを豪勢にもてなす都度、各地に早馬を走らせて食材を調達する必要があったので馬という字を入れてご馳走と言います。ただ昔は、ご馳走でいっぱい美味しいもの食べさせることは大変だったので、総出で生ものかき集めたというのが由来です。

2番目の話のプレゼントです。現在の御曹司は名門のご子息ということになります。本来の意味は役人・貴族の詰所の意味なのです。古代中国では役人の詰所を曹司という場所としていました。平安時代の日本では官署の部屋の名前として採用されております。女官・役人、未婚の貴族の子供、草市、部屋住みの未婚の貴

族、に意味は変化していつて御曹司になっていました。御曹司を始めたのは源氏なのです。源氏の未婚の貴族の子が御曹司になっております。それに対して平家の場合は、御曹司ではなく公達(きんだち)という表現になります。この場内に御曹司の方がたくさんいらっしゃいます。由来だけは頭に入れといてください。自分のことの発祥の由来をご理解ください。

今日にふさわしくない話もあるのですが、相棒という話。「相棒」と「相方」いう二つ言葉あるのですが微妙に違うのです。相方はいつも一緒にいる人、相棒は協力して仕事をしてくれるパートナーです。ですから江戸時代の籠かきが「もっこ」みたいに担ぎます。それが棒を通じて一緒に仕事するわけですから、それが相棒の由来ということ。語源ですね。

もうひとつ、「沽券(こけん)にかかわる」という表現があります。これはプライドや評判を落とす際に言われる「男の沽券にかかわる」「わが社の沽券にかかわる」ですが、沽券というのは江戸時代の証文です。いわゆる不動産登記簿とかそれに値するものが沽券と言われていました。江戸時代に不動産売買する時は土地買うお金持ちしか持っていない時代でした。その意味の沽券をなくするような、貶(おと)しめられた時を沽券にかかわるという表現になります。

最後は八百長。これは相撲に関係するのですよ。八百長は、わざと負けるイカサマで勝ち負けを再開することとあります。これは相撲で第7代伊勢ノ海親方は囲碁が大好きだったそうです。出入りの八百屋、根本長蔵が囲碁の心得があるので、親方に商売上取り入ってほしいものだからわざと負けるわけです。力士に野菜を売るわけですから、大量に売れるので大金持ちになったということです。「左うちわ」の生活していたのですが、ある日、碁会場で本当の囲碁の盟主、本因坊が来たのです。本因坊対八百屋が碁を打っていると、いつになく八百屋の方が強い。伊勢ノ海親方が「普段、嘘やっていたな。接待囲碁で俺をおだてたな」ということで、分かって、いわゆる手加減していたことがバレました。それが発祥で『八百長』という言葉になっています。

差しさわりのない材料を拾って話のプレゼントといたします。どうもありがとうございました。

## 新入会員紹介

### スポンサー 中島 徳政君



新入会員の佐々木さんをご紹介しますと思います。サントリービバレッジソリューション株式会社釧路支店支社長でございます。前任の

田内君の転勤に伴っての着任になります。

佐々木君は定番通り、ゴルフはしないけど練習中だそうです。麻雀はしません。趣味としては、サッカー・フットサル・スキー・スノーボードと運動がお得意のようです。サッカーは中学校から社会人までされていて、お子様の指導にも当たられたということでサッカーがお好きだそうです。北見がご出身で、札幌から釧路へのご着任です。

奥さまと長女・長男が一人ずつおられて、この方は現在旭川におられます。39歳ということで当クラブ最年少です。田内さんに代わって私たちの平均年齢を下げただけのことになっています。

それでは、佐々木君からご挨拶いただきたいと思えます。よろしくお祈りします。

## 新入会員挨拶

### サントリービバレッジソリューション

#### 佐々木裕章様

こんばんは。この度、歴史と伝統のある釧路ロータリークラブに入会しましたサントリービバレッジソリューションの佐々木と申します。



よろしくお祈りいたします。今、中島様からいろいろと私の趣味など紹介をいただいたのでその辺は割愛させていただきます。前任の田内の後任で着任となりました。私もここに着任して4週間目なのですが、まだまだいろいろ分からないところもあります。こういう機会を設けていただいたところで、これも何かの縁と思って私も頑張りたいと思えます。皆さまぜひよろしくお祈りいたします。

## 歓迎の言葉 滝越 康雄会長

久しぶりの新入会員様でございますので喜ばしい限りでございます。

新入会員さんがお入りになった時の情報委員会からレクチャーはお済みと思っております。定番の挨拶ですが、約束事で書かれているわけではありませんが、新入会員の方の出席の3、4、5、6というスピーチを私は記憶しております。詳しく3、4、5、6をピタッと記憶していませんが、意味として自分の所属クラブには3割以上は出席しましょう。連続4回以上は例会を休まないようにしましょう。それから出席率は5割以上を保ちましょう。最後の6は例会時間の6割以上を出席するように努力しましょう、です。

この言い伝えは甘いのではないかと思います。所属クラブの3割以上の出席は、倍、出席してほしいと思えます。出席率は5割以上では、パーフェクトの何人

もいらっしゃいますのでロータリーにがっちりハマっていただきたいと思います。そのように努力というよりもハマって面白くなっただけだと思いますので、1週間後の例会場にはお越しくださるようお願いいたします。とにかく地道にロータリー活動には励んでいただきたいと思います。以上、歓迎の言葉としてよろしく申し上げます。人事を忘れていました。配属委員会は親睦委員会。委員長横田さんよろしく申し上げます。本年度はあと2カ月ですけど親睦で頑張っていたいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

■本日のプログラム■  
新入会員対象者をお招きして

司会 会員増強・選考・職業分類委員会  
市橋多佳丞副委員長

皆さま、こんばんは。私、増強の担当の副委員長です。司会をしばし務めさせていただきます。それでは、乾杯に移らせていただきます。乾杯のご発声を会員増強担当の吉田委員長、よろしくお願いいたします。合わせて、趣旨説明もお願いいたします。



乾杯のご発声

会員増強・選考・職業分類委員会 吉田 秀俊委員長



皆さん、こんばんは。委員長を務めております吉田でございます。本日の例会は先ほど司会からもありましたように、新入会員対象者をお

迎えするというタイトルで、当委員会と親睦委員会の共催で進めさせていただきます。

今日は先ほど会長の方からありましたように、本日は五明さんのご子息・五明龍哉さんを含め4名の方に参加をいただいております。皆さん、それぞれ職場ですとか地域でいろいろ奉仕活動されてきたかと思いますが、ロータリークラブに入会することで多くの仲間が増えますし、さらに活躍の場が増えると思っております。ぜひ、鉚路クラブに入会されまして、その活躍の場を広げていただきたいと思っております。

鉚路クラブには現在98名のメンバーが在籍しております。鉚路市、鉚路町、白糠町含めた鉚路管内には約310名のメンバーがおります。そして、日本全国で

は8万4300人の会員があります。世界中には200以上の国と地域に118万8000人のメンバーが日々奉仕活動を行っております。皆さんもぜひ鉚路クラブに入会して、ロータリアンの一員としてわれわれと一緒にロータリー活動しながら奉仕の輪を広げていただければと思っております。

今日は私自身、風邪気味なのですが委員長という立場とそれから私の性格上、真面目な話と硬い話で終始しましたが、これから皆さんの緊張ほぐすために親睦委員会が楽しい雰囲気を提供してくれると思っております。多くのメンバーと交わりながら、楽しいひと時を過ごしていただければと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは乾杯したいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは対象者の皆さんが一日も早く鉚路クラブに入会されますこと、それから当クラブのますますの繁栄、さらに皆さんの更なる活躍とご健勝を祈念いたしまして乾杯したいと思います。ご唱和申し上げます。

それでは「乾杯」  
ありがとうございました。

司会 親睦委員会 工藤 彦夫

こんにちは。親睦委員会の工藤です。これよりは、会員フォーラム「私は〇〇でロータリーに入った」ということで4名の会員に登壇していただきまして、ロータリーはどういうものかを知っていただきたいと思っております。

それでは濱口憲太君、続きまして石井孝行君、今年親睦委員会ですね。続きまして去年幹事で頑張った市橋多佳丞君、最後は「相談できる人いますか」ということでの杉村莊平パスト会長。はい、拍手。コーディネーターはうちの横田英喜委員長です。お願いします。まず、皆さんは飲み物持って来てください。はい、ごめんねー、ごめんねー。石井君、ビール何杯も用意するよ。はい、申し訳ないです。

では、横田委員長、よろしくお願いいたします。

司会 親睦活動委員会 横田 英喜委員長

親睦活動委員会委員長の横田です。よろしくお願いいたします。すみません、こういうこと、慣れていないものでしてよろしくお願いいたします。



それでは工藤君からありましたとおり、今回は新入会員対象者の4名の方をお迎えして、こんなに鉚路クラブは楽しいのだということを感じていただいて、ぜひ



ひ入会につながっていただけたらと思って、この「私は〇〇でロータリーに入った」ということで、4名の方、向かって右から入って1年半になる濱口君、石井君、それと幹事を経験した今年で8年目になる市橋君、去年の釧路クラブの会長である杉村君と、この4名の方でフォーラムを開催したいと思います。皆さま、どうぞよろしくをお願いします。

まず、さっそくですが、まだ知らない方もいると思いますので自己紹介を兼ねてお名前と勤務先と普段どんなことをやっているか、濱口君からお願いします。

### 濱口 憲太会員



こんばんは。今年度、副幹事を務めさせていただいております濱口です。大変緊張しております。会社は環境コンサルタント株式会社という会社を

経営しております。内容ですが環境調査全般と言いますか、自然環境保護と社会資本整備の橋渡しのような仕事をしております。多岐にわたっておりますので説明が難しいのですが、環境調査の仕事をしていると思っていただけると幸いです。少し緊張しておりますけどよろしくをお願いします。

### 石井 孝行会員



去年10月に入会して1年半経ちました。まだ入ったばかりで、親睦委員会の副委員長を仰せつかっております武田建築設計事務所の石

井と申します。

よく武田で石井というのを間違えられて「武田社長をお願いします」と言われるのですが、母方の会社が武田という名前で、そのまま残して、父が石井としてやって来たことで武田建築設計という名前を残しております。

設計事務所ということで、どんな建物でも設計するので、「犬小屋から病院まで」ということで。病院といっても大きい市立病院とかはできない感じなのですが。ああ、お酒飲み過ぎた、がんばってやっておりますのでよろしくをお願いします。

### 市橋多佳丞会員

皆さま、こんばんは。三洋電気船具の市橋と申します。昨年は幹事をさせていただきまして、皆さまには大変お世話になりました。誠にありがとうございました。



た。

当社は船と名前が付いているように、主に漁船とか船の皆さまに資材等を卸す仕事をさせていただいております。大きなもので言えば、海にプカプカ浮いている大きい「ここからダメ」というような標識灯を想像していただければ分かりやすいと思います。水産都市釧路といっても、皆さんには漁船とかになじみがないのかと思っております。そういう産業の一翼を担わせていただいておりますが、ご存じのとおり水産業はいま斜陽になって来ていて、今後どのように攻めていこうかを思案中の市橋です。どうぞよろしくお願いたします。

### 杉村 莊平パスト会長

拓殖不動産の杉村と申します。しがない不動産会社を経営しております。皆さんがご存じのとおり僕はせっかちの貧乏性でして、人に仕事を任せられない性格なものですから、いまだにプレイングマネージャーから脱せられないで、毎日あくせく働いております。

何を言いたいのかといいますと、皆さんの中で「時間がないから入られない」なんていう人がいたら僕にかかってきなさい、というところです。僕が時間の使い方を一からご説明させていただきますのでよろしくお願いたします。

### 司会 親睦活動委員会 横田 英喜委員長



皆さま、ありがとうございました。濱口さんのキャラクターを分かっていただけだと思いますが、真面目な方です。石井さんは武田建築設計で釧路小学校を設計していましたよね。うちの子が今年、釧路小学校に入りましたのでよろしくお願いたします。

先ほどのセレモニーで司会を濱口さんにやっていただきました。いつもは清水副会長の穏やかな優しい司会に慣れていたところ、完全に真面目な濱口君の司会に飲み込まれてしまいました。こちらは、いっぱいいっぱいです。皆さん、お酒が入っていますから、もう少しくだけた感じで行きましょう。皆さん、1杯飲んでみてください。

では、どうしてロータリーに入ったのですか。入ったきっかけを教えてくださいたいと思います。濱口君からお願いします。

では、どうしてロータリーに入ったのですか。入ったきっかけを教えてくださいたいと思います。濱口君からお願いします。

## 濱口 憲太会員

私がかねてより大変お世話になっている先輩方からお誘いを受けたのがきっかけです。釧路クラブのイメージですが、私の当時のイメージは釧路の歴史を作り上げてきた名だたる企業の代表者の皆さまの集まりで、とにかく敷居が高いと思っていました。簡単に言うと、私はまだ不相応だと正直思っていました。仮に入会させていただいても多分まともにコミュニケーションは築けないだろうと思っていました。

もう一つは、私はいま46歳ですが、入会時は44歳でした。会社も引き継いだばかりで、会社のことがわかりが頭にありましたので、入会はそのようなことから、まだ早いのではないかと、かなり警戒をしていたのが当時の感じでした。

## 石井 孝行会員

私も濱口さんとほぼ同じ内容なのですけれど、やはり、お誘いは何年も前から受けておりましたが、ずっと断り続けておりました。業界の団体にしか所属したことがなくて、業界の団体ではいろいろ役職などをやることがあったのですけれど、業界以外の団体に所属するのはロータリークラブが初めてでした。いつかは交流の場を深めたいというのもあるとあって、そのタイミングを自分の中でも先延ばしにしつつも、いつかは入りたいという思いがあったのは事実です。

ただ、目の前の仕事と業界の仕事で、先ほどの杉村さんの話ではないですけど、時間をどう作ったらいいか思っていました。そんな中でスポンサーである浅川さんと中野さんから猛烈なアプローチがありまして、その時の会長が杉村会長でした。私も杉村会長を知っていたものですから、入るのであればこのタイミングだと自分の中で決めて入会に至りました。

全く濱口さんと同じでした。

## 市橋多佳丞会員

自分の選択権がある左のお二人はうらやましいと思いつつながら今の話を聞いておりました。

私は、24歳から40歳で卒業するまで某団体に16年ほど在籍をしていました。そのきっかけはこのクラブにいらっしゃる西村君、濱谷君の大先輩の二人に誘われて入っておりました。「それだけやったから、お前は、しばらくはいいよ」とその先輩に優しい声をいただいていたのですが、私が卒業した年に西村さんが会長をされていまして、そのタイミングで「転勤で退会者が出たので、このままでは99人



になってしまう。釧路クラブは100を切ってはいけない」という話をされていたと私は聞いていました。そこで「多佳丞、ちょっと来て」とボーリング例会の二次会に急遽呼ばれて、そこで晴れて入会となっています。左の二人は自分の意志で入ると決めていますけれど、私の場合は自分の意志は全く関係なく「いいから、ここにおいで」とクレーンゲームのような感じで、そこに召喚されて8年に経った市橋です。ありがとうございました。

## 杉村 莊平パスト会長

お三名は人気者で、いいなと僕は思いました。さっきの続きで、しがたない不動産屋をやっていた杉村は、ロータリーに入るのだったら釧路クラブに入りたいな、とは思っていたのですが、なんのお誘いもいただかなくて。42歳のある日に、吉田潤司さんがポロッと会社に来られて、僕はあまり知らなかったのですけれど、「栗林定正君を誘っていたら、『君が入れば、入る』と言っているのだけれど、入る」みたいな。なかなか失礼だなと思いながら、「入ります」と言って入らせていただきました。以上です。

## 司会 親睦活動委員会 横田 英喜委員長

ありがとうございます。みなさんは、それぞれの理由で入ったかと思いますが、釧路ロータリークラブに入ってみてどのような印象ですか。入る前の印象が入ってから変わりましたか。濱口君からお願いします。

## 濱口 憲太会員

はい、真面目担当です。入会してどう思ったかですけど、市橋さんもおっしゃっていましたが、私も選択肢はなかったです。でも、ここに入会をさせていただきまして、年下でしたし、人生経験も非常に少ないのですけれど、分け隔てなく優しく接していただけました。これは、お世辞抜きで本当です。釧路クラブに入会しないと絶対にお話する機会がないだろう、人生で絶対に交わらないだろう方々とも本当に近い距離でお話をさせていただけることが私としてはすごく衝撃的でした。本当に素晴らしい経験をさせていただいていることをいつも思っています。

あとは、まだ早いと思っていたのですが、実際に入会してみると自分が若いのかと思ったのですが、近い世代の方が非常に多かったのです。その方と会社のことなどクラブ以外のことでも相談させていただけると、経験を積みさせていただけて、仕事に生かせることもあって非常に良かったと思っています。

言い方が悪いのかもしれないのですが、入会前はビックの社交場のイメージでいしましたが、決してそうではなくて、表現が合っているか分かりませんが、すごく紳士的で年齢に関係なく温かい家族のようなクラ

ブだと思って、とても居心地よくさせていただいています。以上です。

### 石井 孝行会員

ロータリークラブというイメージですが、このマークだけは僕も知っていて、これがロータリー、硬いイメージ、硬い大人の団体で、何をしているかも勉強不足で分かっていなかったのが入会前のイメージでした。ただ、ロータリークラブに所属している先輩がたくさんいて、誘っていただいていたことも分かっていたのですが、ロータリークラブが何をしているかは正直把握もできていませんでした。勉強不足で硬い印象がありました。

実際に入会させていただいて、入ってみて、私は幸か不幸か親睦活動委員会しか経験したことがなくて、このアンケートに答えたら、横田委員長から「石井さん、親睦しか経験していないから、こういうこと書くのだね」と言われたのですが、入ってみると「硬い大人の団体がすごく緩い大人の団体だった」と書いていたのです。イメージが違いました。緩いというのは僕なりの解釈で、まず分け隔てがない、けど思いが熱い大人の団体なのです。でも緩いな。イメージが硬かったのです。

親睦なのでお酒を飲む機会が多いのですが、お酒が好きな人には当然で、飲めない人にも関係なく楽しい交流ができる、これが大人のいい団体なのだと思っています。

### 市橋多佳丞会員

ロータリーに入会をして、ということです。ロータリーと言えば奉仕となるのですが、事前のレクチャーで『奉仕』の話聞いたときに自分の中での奉仕は、そのころはボランティア活動などのイメージでしたが、まだまだ全体像すらつかめていないと思いますけど、ロータリーで言う奉仕は、委員会にある「青少年」とか「社会」とか「職業」ですとか様々な角度からの奉仕があるのだと気づかせていただいています。「奉仕とは」と問われたら何も答えられない状態だと思っているので、ロータリー活動をとおして奉仕を学んでいかなければと思っています。

先に話された二人も言うておりますが、奉仕という活動をとおして多世代にわたる、上は90代の方から下は30代までの方が昼例会では真摯に取り組まれ、夜例会では180度スイッチを切り替えて心の底から楽しんでいる様を見させていただくと、自分自身が心の壁をまだ取り払っていない部分があると思わせていただいています。

特に、この前、紋別の地区研修協議会があった時に、石田先輩と一緒に車の中で話を聞くと、40歳を超えて一丁上がりの気になっていた自分が、まだまだ人生

のスタート段階にいるのだと思わせていただきながら日々活動をさせていただいているのが現状です。

ロータリーに入って何が変わったかというより、「あなたは、まだまだペーペーなのだから、もっと頑張りなさい」と常に言われているような気がします。以上です。

### 杉村 莊平パスト会長

僕が入ったのは42歳で、もう16・17年になるのです。当時の同世代は、邵さん、先輩ですけど甲賀さん、木下さんとか、40代前半はいなくて、自分の居場所を探すのに苦労した記憶があります。多分2年も経たないうちに吉田秀俊さんが来て、「杉村君、IMの司会を頼むね、じゃねー」と。IMも分からない、それってなに、見たこともないのですよ。それを、司会をやらせ、と。司会を自分で考えなさいみたいな感じで来て、ひどい団体だなと思った記憶があります。そんなことで、一つ一つ経験させてもらって楽しい思いをさせてもらっていました。

その時に、公で初めて褒めますが、当時の工藤さんが今の僕の少し前くらいの立場で、50歳と少しの工藤さんが上の世代の方と僕らの世代を一生懸命につなごうとしているの、若い世代を楽しませてやるの、それが俺の責任なのだと思います。工藤さんがいて、僕が救われたところがあります。しょっちゅう誘ってくれて、後藤君がいま『鱗』ですが、前には『参久』という店をやられていて、ここによく連れて行ってもらっていました。

いま僕がそんな立場になってきていまして、なじませてもらっているなかで、ロータリーには定年がないのです。自分が健康で商売さえ頑張れば、70でも80でも90でもできるので、そういう先輩の姿をズーツと見られるのです。さっきの市橋君の話ではないですけど、飲みに行っても、地方の物産に行っても、こういう60代を迎えたいとか、こういう70代でありたいなど、それを勉強させてもらえるきっかけになります。最近はこの様子を見せてもらってよかったな、これがロータリーに入ったことで貰える成果なのかなと思いつつ日々楽しくやっております。これはホントの話です。

### 司会 親睦活動委員会 横田 英喜委員長

ありがとうございます。私も、ぎこちない司会をしていますけども、こういう司会でも工藤さんの指示の下で動いておりますので、それは工藤さんの責任ですので許してください。

続きまして、これからロータリーで取り組んでいきたいことを、一言お願いいたします。濱口君、お願いします。



## 濱口 憲太会員

再び、真面目担当です。私は本当に楽しいです。この釧路クラブで活動させていただいて楽しくて。先ほど言い忘れたのですが、元々尊敬している経営者の先輩、入会させていただいて初めて知り合いになった、そしてその方がどんなに素晴らしい方なのかも分かって、こういう組織に身を置かせてもらっているのを誇り思っております。

入会するかしないかですけど、私は、言葉は悪いけど「どM」なのです。どっちか迷ったらイバラの道を進むのが僕の信条です。人生の経験上、迷ったら必ずイバラの道に行きなさいと僕が中学校の卒業式でみんなに言ったのです。絶対にそちらの方が得られるものが多い。たまに失敗することもあります。でも入会したことによって素晴らしい経験を得られたと感謝をしています。

これから取り組んでいきたいことですが、できるだけ経験したい、参加をしたいことです。分からないことばかりですが。僕も、入会して「木曜日だけ来ればいいよ」と話をされましたが木曜日はもちろんですが、様々な依頼もいただきます。その時に、先輩も「どうしてこういう依頼をお前に頼んでいるのか」を分かりやすく言っていただけますし、期待ももちろん言っていただけますので、頑張ろうという気持ちにもなります。

もう1点、ホームページに「アーカイブ」というのがあって、それは2004年くらいから見られるのです。それを見ると、それをお願いしている方も同じように笑顔で活動されている姿を見ると非常に説得力があると思えて、私も先輩と同様に頑張っていきたいと思っています。

何をやりたいということではないのですが、身を置かせていただいている以上は一生懸命に頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。

## 石井 孝行会員

酔っ払い担当です。美味しくいただいております。

これからロータリーで取り組んでいきたいこと。ロータリーに入ってまだペイペイですから分からない言葉がたくさんあって、IMって何だろう、PETって何の略なのだろう、パストガバナーのパストって、ガバナーって、たくさんあるのです。いまだに分かっていなくて、これから取り組みたいのはその言葉を分かってほしいと、小さい目標があります。

一応、真面目に書いたことは、毎年役割が変わるので、僕は入った年と2年目と親睦委員会で、親睦しか知らないのです。他の活動もたくさんありますので、与えられた委員会が毎年違ったポジションに配属されるのはロータリーのいいところと思っています。その与えられた役割を1年間吸収して活動の提供ができ

るように取り組んでいきたいと思っています。これが酔っていない時の石井の意見です。

## 市橋多佳丞会員

ロータリーで取り組んでいきたいことでは、大それたことは思っていないのです。多年代にわたってこうやって会員が交流をして様々なつながりが生まれて行く団体です。昨年の杉村会長の時に幹事をさせていただいたときに、会の運営をとおして実感させていただいたので、若輩者ですがこの団体自体を次の世代につないでいかないといけないと思っています。

そのために私がやることは、言われたことに極力「はい」と言えるようにやって行きたいと思っています。つないでいくことはどんな団体でも大事なことと思っています。その会の本質を私自身も継承させていただきながら、これから入っていただけるだろう諸先輩・後輩にも楽しさを伝えて行けるように活動したいと思っています。

小船井さんもいらっちゃって、40年前にはお隣に住んでいた小船井さんのワンちゃんに私の男の子の大事な所をガブッとかまれたこともあったなと思いつつ、その時からこういう所でこういう話をできるようになったのも40年前に決まっていたのだなと思うと、感慨深いものもあります。最後、くだらない話でスママセンでした。

## 杉村 莊平パスト会長

大した総括はできませんが。さっき石井君、ロータリー用語、PETだ、なんだ、僕も分かんないですよ。パストはただの英語ですから、ロータリー用語ではないですから、そこをよろしくお願いします。まあ、すみません。

僕はいっぱいやりたいことがあります。さっき工藤さんの話をしましたが、釧路クラブは僕が言っても説得力がないかもしれませんが、すごく雰囲気の良いバランスのとれた、ホントに自由な大人なクラブだと思っています。この雰囲気を維持するのが役目としてしっかりやって行きたいと思っています。年齢的には30代40代とベテランの方々と中間の世代になってきていますので、僕らの世代がこの雰囲気を残すようにしっかりやって行きたいと思っています。

それから、ロータリークラブには「地区」というのがあって、簡単に言えば東北海道くらいが地区になるのですが、地区大会などがあって、帯広だ・北見だ・旭川だと皆さんと行くのですが、その次が急に「世界大会」になってしまうのです。「帯広の次がサンパウロね」みたいになってしまうのです。このメンバーで国内旅行に行くのが夢です。言ってばかりで、いつまでたっても行わないので、旅行部みたいのを作って、何も強制のない自由なので「今年は金沢ね」「来年は

京都ね」とか2泊3日くらいので、みんなで行けるのを作りたいと思っています。これ、ひとつの夢になります。

総括すると、このクラブの100名は維持したいのです。この雰囲気の良いのを維持するためには数とバランスが必要で、若い者だけでもダメで、70代80代ばかりでもダメだと思いますので新しい血を入れながら「いいクラブ」を維持していきたいと思っていますので、拡大には力を入れて行きたいと思っています。

とにかく、こういう雰囲気を大事にしたいと思いますので、自分を卑下するわけではありませんが、しがたない不動産屋がこんなところで偉そうな話をしているわけですから、それをやらせてもらえることがこのクラブのいいところと思っていますので、ぜひ、あなたたちも10年後にはここに座って、こんな話ができるようになってもらえればと思います。

こんなので、よろしいでしょうか。

司会 親睦活動委員会 横田 英喜委員長

杉村君、ありがとうございました。以上で会員フォーラムを終了させていただきます。お酒が入っているにも関わらず、親睦活動で本来であれば楽しませなければならぬのに、このような真面目な会になってしまって、申し訳ございませんでした。

ただ、貴重な意見を聞けたと思いますので、新入会員候補者対象者の皆さまの入会をお待ちしておりますのでよろしくお願いいたします。

皆さま、貴重なご意見をありがとうございました。パネラーの皆さまに大きな拍手をお願いいたします。

(手に手をつないで)

### 締めのご挨拶 後藤 公貴会長エレクト



本日の会を設えていただきました会員増強委員会の皆さま、親睦活動委員会の皆さま、本当にありがとうございました。時間を忘れるくらい楽しい会になったと思います。

本日、ご入会されましたサントリービバレッジサー



ビスの佐々木君、ホントに楽しい会ですので、お仕事優先ではありますが時間のある時は必ず出ていただいて皆さんと親睦を深めていただくと、温かいつながりが分かるかと思います。分からないことは田内君に聞いていただけると分かるかと思いますので今後ともよろしくをお願いします。

そして本日の主役、4名の来訪の皆さま、ありがとうございました。なんとなく雰囲気を感じ取っていただけたかと思いますが、今日この場にお座りになっているのはお仕事の関係だったり、気心の知れた仲間のお誘いだったりとか、尊敬する一目置いている方のお誘いだったりとかで、実は断るときには簡単に断れる気がするのです。だけど今こうして座っていらっしゃる事実があって、この感じを肌で味わっていただいていることは、僕とても嬉しく思っているのです。

僕は41歳の時に入会させていただきました。その時は今日ご出席されている五名さんのお父さんと駒形屋の白幡君に店のカウンターにドンと座られまして、「お前、末広で商売できなくしてやるか」と言われて、「お世話になります」と言うふうに言わせていただいて、どちらかという首根っこ系の入会をしたのですが、でも10年経って来年度はこういう立場をいただいたのは、このクラブの懐の広さだったり温かさであったりと思っております。

ぜひ、前向きにわれわれと時間をともにするきっかけになってくれればと思っております。

長くなって申し訳ございませんが、あと2カ月、滝越年度が残っておりますし、親睦活動委員会もあと2回の夜間例会があります。ぜひ有意義な親睦と交流、そして素敵なロータリーの時間を皆さまと共有できることをご祈念いたしまして一発で締めさせていただきます。よろしいでしょうか。皆さま、ご起立をお願いいたします。

それではお手を拝借いたします。

よおー、パン

ありがとうございました。

